

総領事からの活動報告(5月後半)

平成 24 年 5 月 29 日

以下ご報告致します。

フロリダ州製造企業トップとして表彰された日系企業・NIPRO(ニプロ)ダイアグノスティック

昨年 12 月、スコット州知事・フロリダ州商工会議所から、州内の製造企業(500名以上の従業員を擁する製造企業部門)で、トップ製造企業として表彰された NIPRO・Diagnostics 社は、大阪に本社がある NIPRO が100%買収した日系企業です。マイアミから北に1時間のフォート・ローダーデールに製造工場があります。

この荣誉ある賞を授与されるためには、推薦をされた上で、企業内環境・労使関係・人材育成、地域貢献活動など多岐にわたるチェック項目の審査を受けたのだそうです。

5 月 16 日、同社スコット・バーナー社長兼最高責任者(CEO)他関係者の方々と懇談致しました。同社社訓は、全ての糖尿病患者が、家庭で簡単に血糖値の検査・対応のできる製品を低価格で米国内市場向けに提供することです。バーナー社長(写真上、右から 3 人目)のお話では、市場のニーズに対応した製品開発のため、同社は自前の技術者集団による開発を行ってきており、こうしたところに、同社が消費者に喜ばれる製品を提供して評価を高めている理由があると思います。



5 月 19 日付当地主要紙マイアミヘラルド紙でも、地域の雇用に貢献する企業として、同社を紹介しており、また、消費者は、厳しい景気の中では、一層価値の高い製品を買い求める、との社長のインタビュー発言を報じております。

同社バーナー社長は、フロリダ州経済開発促進のための委員会活動にも参加されて、フロリダ州内への外国・米国内からの企業投資を促進する観点から、州内企業の競争力強化の検討チームの一員としても御活躍されており、州政府、州内ビジネス団体及び連邦政府に意見・要望・助言を積極的に行っておられます。同社長は、早朝から深夜まで仕事に携わっており、日々、大変にエネルギッシュな活動をされておられる様子です。日米野球の愛好家でもあります。また、モンデック副社長(写真右から二人目)は、余暇にカー・レースのドライバーを10数年続けて、一度も事故に遭遇していないことも話されていました。

◆米務省チームとの親善ソフトボール試合で勝利

5月20日(日)午前、コーラル・ゲーブルズ市内の野球場で、当総領事館チームと国務省地域事務所チームが親善ソフトボール試合を行いました。ジム・ケーソン市長による始球式に引き続き試合が開始されました。同市長も子供の頃、リトルリーグに所属して活躍されたそうです。

国務省チームは、昨年同様、今回も大型選手を揃えて臨み、大変な接戦となる好試合でした。試合結果は、6対5の僅差でわが総領事館チームが勝利し、トロフィーが7年ぶりに総領事館に戻って来ました。親善ソフトボール試合は、2004年から始まっておりますが、今年の総領



事館チームは、チームワークが良く、全員野球で、しっかり、ねばり強く最後まで戦い、勝利の女神も微笑んでくれたようです。職員家族の応援も幸いだと思います。選手一同、久しぶりの勝利に大いに沸きました。試合後、両チームの記念撮影(写真上)をしました。

◆デルレイビーチ市長御夫妻一行の宮津訪問と成果

5月21日、京都府宮津市(京都市から列車で1時間半の距離)と姉妹都市関係にあるデルレイ・ビーチ市のマクダッフィ市長御夫妻(写真左端から4人目と5人目の方)をはじめとする皆様を公邸にお招きして懇談の機会がありました。

今年2月中旬、同市長御夫妻他の御一行が宮津市を訪問されて大変な歓待を受けたこと、若者が大都市に働きに出かけ人口減少、高齢化社会に移行しており、雇用創出の取り組みが必要とされていることなど両市が共通課題を有すること、又、水産養殖が進んでおり、フロリダでも、一時、水産資源の乱獲で漁獲が減少、その後、持続的資源維持活動をした市長の御経験から、特に興味深かったこと、また、地元にある竹を利用したバイオマス・エネルギー製造プロジェクトや観光客として訪れる年間270万人のうち、宿泊者数を増やす為の市の取組みがなされている点が興味深かったこと、同



行した市長夫人及び同市商工会議所マローン会頭夫人は共に学校教員をされており、宮津市の小学校を訪問し授業参観をされて楽しまれたこと、宮津市には全国でも数少ない海洋高校もあり、漁船を保有して、フィリピン近海まで練習航海をしていることに驚かれたこと、さらには、井上宮津市長のお勧めで、湾内での漁に朝早くから出かけ、船上でとれたての魚を料理してもらって美味しい朝ごはんを馳走になったこと、天橋立に近い宮津市の高台からみた雪景色は格別に美しかったこと、旅館で日本方式の生活を楽しんだこと等、大変に愉快的エピソードを織り交ぜたお話を伺うことが出来て、大変に楽しい懇談となりました。

同市長ご夫妻一行の宮津訪問に続き、今年6月にはデルレイ・ビーチ市の高校生達がシュミット前市長さんに引率されて、宮津との高校生交流に行かれること、宮津市からも10月又は11月頃に交流使節がデルレイ・ビーチを訪問する予定があり、姉妹都市の次世代間の交流が、今後続くとの見通しも伺いました。また、デルレイ・ビーチ市には、宮津市出身の方から寄贈を受けた土地に、森上美術館と広大な庭園がありますが、市長・商工会議所会頭から、今後、森上庭園の素晴らしさを多くの方に知ってもらおう働きかけについての御意見も伺いました。

◆ドレイヤー先生、シュミットマン先生との懇談

5月24日、マイアミ(UM)大学で中国政治・軍事分野を研究されているドレイヤー教授(写真右端の方)及びフロリダ・アトランティック(FAU)大学でPPP(公民連携)などを教えておられるシュミットマン教授(写真、真ん中)と懇談を致しました。ドレイヤー先生は、中国の軍事面での研究を若い頃から始められ、米議会での証言を時折依頼されております。また、今年4月には、



中国と中南米諸国との関係セミナーへ、パネリストとして参加をされておられます。京都に1年間滞在された経験があり、今でも、鴨川沿いの散歩のことを懐かしく語っておられます。日本関係のニュースには毎日接しておられる様子で、気になるニュースについて教えてくださいます。

シュミットマン先生は、東洋大学から依頼されて講義のため東京によく行かれていたそうです。最近も朝5時に起きて、東京にいる東洋大学のキャンパスにいる学生達にスカイプを通じて講義をされていると伺いました。シュミットマン先生は、森上美術館・庭園を郡から運営を委託されている森上トラストボードの副会長を務められておられ、森上のすばらしさを全米に広く認知してもらうための戦略セミナーを今年2月に企画・実施したチームの中核人物であり、多方面で大活躍をされておられます。今春のワシントンでの桜祭りに参加された際の写真映像をわざわざパソコンを持参されて、拝見させていただきました。(了)